



福岡アジア留学生里親奨学生 インチューポン・アピワット氏

# 日本語ができるアジア人材 留学生レポート

留学生レポートでは、日本語の出来るアジア人材として今後の活躍が期待される留学生の活動をご紹介します。

株式会社テクノスマイル 企画広報室

当社では、福岡アジア留学生里親奨学金～フェイス to フェイス奨学金に賛同し、タイ王国から福岡工業大学に留学中の学生を支援しています。今回は、卒業後、日本企業での就職を希望する留学生インチューポン・アピワット君をご紹介します。

## 留学生プロフィール】

名 前：インチューポン・アピワット（通称：トール）

国 籍：タイ王国

学校名：福岡工業大学 工学部 知能機械学科

専 攻：設計



## 【留学生紹介】

### 1) 日本語を学び始めたきっかけは？

日本語を学び始めたのは、現在日本の会社が活躍の場を広げているので日本語に詳しくなれば将来的に役に立つと思ったから。日本語は難しいが日常会話に問題はない。これから一年は、日本語の勉強を集中的にもっと頑張りたいと思う。

### 2) 日本での活動について

日本に来てから福岡の4大学合同のスポーツフェスティバルや博多どんたく港祭りに参加し多くの人と交流をした。—この他にも地域活動として海岸のごみ拾いに参加するなど、積極的に外に出て交流を深めようという意欲が素晴らしいです。また、大学で担当指導員としてアピワット君と接している先生によると「行動力・社交性には目を見張る」ということでした。

### 3) 今後の予定

今年1年間は、日本語を集中的に勉強してN1（日本語能力試験）を取る予定です。卒業後は、4年間学んだ日本語を生かして日本企業で働くことで自分自身をさらに成長させたいと思う。そして、タイと日本の橋渡しをしたい。

## 福岡アジア留学生里親奨学金とは？

福岡県で就学しているアジア地域からの私費留学生を対象とし、この目的に賛同し奨学金を寄付する「団体や個人（＝支援者）」と留学生のお互いの顔が見える「フェイス to フェイス奨学金」です。